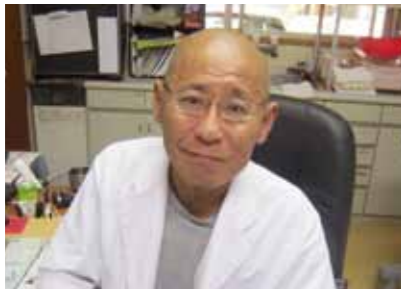


今回は、介護を加味した診療を目指しておられる、田島医院の田島進先生です。



田島院長先生

## 田島医院

〒734-0003  
 広島県広島市南区宇品東1-4-19  
 電話/082-252-0031  
 院長/田島 進  
 診療科/外科,消化器科,整形外科,  
 リハビリテーション科



院長先生とスタッフの皆さん

### ○いつ頃開業されましたか。

昭和の最後の年25年前に開業いたしました。その前は、県病院の整形外科で1年間研修をしていました。併設のデイケアは、宇品で2番目に歴史があります。そのころ、すでに外科は個人ではなくチーム医療でした。

### ○田島先生が毎日の診療で大切にされていることは何ですか。

私自身も入退院を繰り返し、話が不自由ですが、リハビリを拡充して、入院、デイケア、外来に力を注いでいます。今は入院患者様の家族も巻き込んで、リハビリ、デイケア、入院を3本柱に診療をすすめています。介護をしている家族との時間をつくるのも大切です。自分が病気になったので、患者さんのことがわかるし、気持ちを考えてあげられるようになりました。また、筆談で患者さんやスタッフとやりとりをすることで、通常より時間はかかりますが、そのぶんコミュニケーションがしっかりとれているとおもいます。

### ○開業医としてのおもしろさはどんなところですか。

自分が育った宇品地区に貢献できることですかね。若いときは、救急がおもしろかったですが、今は慢性期医療にシフトしています。医療だけではなく、生活、介護を含めた診療を目指しています。

### ○県病院についてひとことお願いします。

『ありがとうございます』の感謝です。桑原院長先生には呼吸器の部長だったころからお世話になっています。県病院と連携をとっているということで、患者さんも安心してうちにかかるのだと思います。また、すぐそばに県病院があるおかげで患者さまに対しても安心して診察ができています。ただ、だんだんと専門性が強くなったため紹介をするとき1箇所ずつしなければならぬのがつらいですね。総合診療科ができて助かります。これからもよろしくをお願いします。



田島医院外観

### 【取材後記】

とても笑顔の素敵なお田島先生。スタッフのみなさんからも、チーム医療で一人お一人が真摯に患者さまと向き合っておられるということが伝わってきました。また、先生はケアマネジャーの資格も持っておられるということでした。真剣に患者さまに向き合う姿勢に心を打たれるインタビューになりました。

# もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページに掲載しています。  
 県立広島病院 で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

## 県病院ミュージアム

県病院内に展示している絵画を紹介いたします!!

画名：「花の室」  
 作者：社河内 綾子

本館1階眼科、待合前に展示しています鮮やかな赤の絵画は、社河内綾子先生の作品です。社河内綾子先生の作品はA受付横ATMコーナーの向かいにも展示しておりますので、是非ご鑑賞下さい。



## ワンポイント 健康メモ

### 紫外線について

紫外線は日本では4月から9月に強くなります。1日の中では10時から14時の紫外線量が最も多いとされています。

皆さんは紫外線に対して、日常で気をつけていることがあるでしょうか？

紫外線は身体に良い一面と悪い一面を持っています。良いものとしては、まずビタミンDの生合成があり、くる病を防ぐといわれています。しかしくる病を防ぐための紫外線の量は、今の普通の生活でいつの間にか浴びてしまう紫外線量で十分とされ、食物からもビタミンDは摂取できるので、敢えて日光浴を行う必要はありません。また紫外線は、その性質を利用し、皮膚病の治療として使われる場合もあります。悪いものとしては、短時間に大量の紫外線を浴びれば日焼けを起こします。そして少量でも長年にわたって浴び続けられれば、シワ、シミ、皮膚の良性の腫瘍や皮膚がんが、歳をとってから生じてきます。さらに免疫反応の抑制や、白内障など眼への悪い影響も指摘されていますし、多くの薬を服用している人は、光線過敏型薬疹を生じることもあります。結局のところ、日常生活を送る上では紫外線は、ほぼ百害あって一利なしと考えるべきでしょう。

## 紫外線対策

- ① 日傘や帽子、長袖、長ズボン、サングラス、手袋などで、紫外線に直接当たらないように工夫しましょう。
- ② 日焼け止めクリームなどを使用し、数時間ごとに塗り替えましょう。
- ③ 海やプールで身体を焼くことは控えましょう。
- ④ 山は空気の層が薄く紫外線が強いこと、曇りでも薄い雲なら紫外線の8割は届くことを覚えておきましょう。



子供に普段から教育したり、習慣にすることが重要です

皮膚科 部長  
 行徳 英一

## 県立広島病院からのお知らせ

### がん医療従事者研修会

**とき** 平成24年 **7月30日**(月)  
 19:00~20:30  
**ところ** 中央棟2階 講堂  
**テーマ** 胃がんの治療について  
**対象** がん医療に携わる医療従事者の皆様  
**問合せ先** 総務課管理係 (担当:藤原)  
 TEL:082-254-1818  
 内線(4273)

### 7月のがんサロン

**とき** 平成24年 **7月25日**(水)  
 14:00~15:30  
**ところ** 新東棟2階 総合研修室  
**内容** 学習会・交流会  
**対象** 悪性腫瘍(がん)で通院または入院されている患者様及びそのご家族の方  
**問合せ先** 地域連携科  
 TEL:082-256-3562(直通)

# 診療科だより

第19回

泌尿器科

今回は、泌尿器科の中原主任部長に直撃インタビューです!!

## はじめに、「泌尿器科」について教えてください。

泌尿器科は尿路臓器と男性生殖器に発生した病気の診断と治療をする専門科です。尿路とは尿（おしっこ）を作る腎臓、腎臓から膀胱に尿を運ぶ尿管、尿を蓄えた後に排出（排尿）させる袋である膀胱、膀胱から体外に尿を排出する尿道からなります。腎臓、尿管は腹部の背側（後腹膜腔）で背骨の両側に左右1対存在し、その傍に副腎があります。膀胱は骨盤の底にあります。男性生殖器は精巣（睾丸）、精巣上体、精管、前立腺、精嚢腺からなります。精巣は精子と男性ホルモンを作る働きがあります。前立腺は膀胱の直下に存在し、その中を尿が通過します。前立腺は隣接する精嚢腺とともに精液を作り、尿道を通して精液を排泄（射精）します。これらの臓器に発生する腫瘍、尿路結石、感染症、外傷、排尿機能障害、性機能障害などの疾患を取り扱います。



中原主任部長

腫瘍の中で3番目となり、2020年には肺癌の次に多い癌となります。腫瘍マーカーであるPSA（血液検査）が前立腺癌の発見に有用で検診を契機に発見される癌のほとんどは早期癌で、手術か放射線治療で根治治療ができます。当科では前立腺全摘除術（腹腔鏡下手術、開腹手術）、密封小線源治療（前立腺の中に放射線源を埋め込む）、外照射放射線治療の根治治療が可能です。腎癌、腎盂・尿管癌、膀胱癌の治療も手術が主体でほとんどは腹腔鏡（後腹膜鏡）下手術か尿道に内視鏡を挿入する手術（経尿道的手術）をしております。泌尿器科に特有な尿路結石は自然に排石できない場合は体外衝撃波結石破砕術か経尿道的結石破砕術で加療しています。

## 最後に、泌尿器科としてここがけていることを教えてください。

早期前立腺癌は治療選択枝が多様で丁寧な説明をしております。泌尿器科癌は高齢者に発病することが多く、腎機能低下、心肺などの合併症を有することもあり、病気の進行度だけでなく患者の生活の質（QOL）にも配慮して治療選択をしています。



泌尿器科の皆さんです

## 泌尿器科では、どのような診療が、どんなスタッフによって行われていますか？

泌尿器科医師は中原満主任部長、角西雄一郎部長、重松慶紀医長の3名です。中原と角西はともに日本泌尿器科学会の指導医で腹腔鏡下手術技術認定医です。

泌尿器科の入院患者の大半は前立腺癌、腎盂尿管・膀胱癌、腎癌などの悪性腫瘍で、高齢化社会に移行と共にいずれも増加傾向にあります。とりわけ前立腺癌は急激に増加しており、最新データで悪性

泌尿器科外来は、医師3名、看護師3名、メディカルクラーク2名で運営しています。泌尿器科は、主に尿路（尿の通り道：腎臓、尿管、膀胱、尿道）の疾患、男性生殖器に疾患のある方がこられます。

幅広い年齢層の方が通院されていますが、近年の高齢化とともに受診される患者様も高齢化しています。診察と同時に膀胱鏡検査や、カテーテル交換、ホルモン注射、膀胱内薬液注入など処置も多く、診察待ち時間が長くなり、患者様には大変ご迷惑をかけております。

私たちは、患者さまが地域で安心して生活できるよう、安全面に配慮し、待ち時間が長くても、受診してよかったという思いで帰宅していただけるよう、日々心がけています。

# 外科医の独り言 no.10

## — 医者の思い込み —

私は長年肝切除や生体肝移植にたずさわってきましたが、肝臓に魅せられた理由は、肝臓は不思議な臓器だからです。だって肝臓を切ったら再生して元の大きさに戻るのですよ。たとえば正常な肝臓だったら3分の2を切っても2週間経ったら残った肝臓は倍の大きさになり、半年後には元の大きさの90~95%まで戻るんですよ。こんなに再生能力の旺盛な臓器は他にありません。胃や腸は切っても大きくなりません。したがって状況によっては2回も3回も肝臓の手術を受ける患者さんがいます。

先日手術した患者さんは5回目の肝切除でした。10数年前に肝臓の腫瘍で初めて肝切除を受けて以来何年かごとに残った肝臓にポツリポツリと再発して、そのたびに切除、そして再生を繰り返してきたのです。その患者さんは80歳を過ぎておられますが、肝臓は再生するのです。歳は関係ないのです。本当に我慢強い臓器です肝臓は、いや、一番我慢強いのは5回も肝切除を受けられた患者さんです。初めての肝切除の時からその患者さんを担当させてもらっておりいつも頭が下がる思いです。

今回もいつもと同じように手術の説明、危険性などをお話ししました。毎回同じことを聞かされウンザリされていたかもしれません。もう5回目だから患者さんも良くわかっていると思って今回は私の説明も手抜きになっていたかもしれません。患者さんもいつものことなので淡々と説明を聞いておられると思っていました。実はこの“いつものことだから”と思っていたのは私だけだったのです。説明が終わって部屋を出る時にふと患者さ

んの顔を見ると目にうっすらと涙を浮かべておられたのです。その時私ははっとしたのです。

医者の思い上がりというか、勘違いというか、医者の気持ちと患者の気持ちに大きな隔たりがあるということに気付いたのです。「先生に任せているんだから頼むよ」という言葉に少し救われたような気がしましたが、患者さんはいつものことだからと安心しているのではなく、いつもの手術でもそのたびに大きな不安を抱えて手術に臨まれているのです。医者が患者さんの気持ちになって物事を考えるということもなかなか難しいものです。それこそ医者が患者にならないとわからないのかもしれない。

退院前日にこの広報誌「もみじ」持ってその患者さんの部屋を訪れました。「こういうのを時々書いているのだけど貴方のことを少し書いていいですか？もちろん貴方の名前を出すことはありませんから心配ないです」とお願いしました。すると逆に「頼むから名前を載せてくれ」と言われて、それはダメと断るのに四苦八苦していると、「退院してから酒を飲んでもいいか」と聞かれ「少しぐらいならいいよ」と答えた自分はやっと患者さんの気持ちになってアドバイスできたようです。



副院長(消化器・乳腺・移植外科)  
板本敏行(いたもと としゆき)

## 外来診療のご案内

### 診療受付時間

午前8時30分～午前11時00分  
※午後の診察は科によって異なります。

### 休診日

土曜日・日曜日・祝祭日  
年末年始(12月29日～1月3日)

### 紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,620円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。